



題字 井口 文章
再刊 第255号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2018

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面 53回生 卒業おめでとうございます
進学懇談会で先輩に学べ
二面 特選ごだいら食い倒れ7品!
1年遠井さんヴァイオリンで全国5位

助け合った仲間との絆忘れないで

第53回卒業式挙行

3月3日(土)に第53回卒業式が挙行された。今年の卒業生は525名。在校生や教員、保護者のあたたかい拍手を受けながら、卒業生は将来への希望を胸に錦城高校を旅立った。

希望を語る人になろう

暖かい春の日差しのもと、53回生の卒業式が催された。卒業証書授与では担任が

一人ひとりの名前が呼ばれ、体育館に大きな返事が響いた。校長先生は「先輩の記録を塗り替えようと頑張ることは

人としての成長に繋がる」と話す。小説家・井上靖の小説『敦煌』から「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」という言葉を引用し「怠けるために不満を探すのではなく、希望に目を向け努力することが大切だ」と伝えた。

最後のHR終了後、教室で思い出話を花を咲かせていた3年G組の柿岡ちひろさん、佐藤かんなんさん、齋藤真知子さん。錦城での3年間は「充実していても楽しかったです」と口を揃えて言う。3年間で一番の思い出は秋の球技大会で放課後に体育館で練習し

ました」と涙ぐみながら言う。卒業式後の3年生の教室は、賑やかな話し声と笑顔で溢れていた。写真を撮ったり寄せ書きをしたり、胸上げをする姿も見られた。

「一番の思い出は部活仲間との大会です」と話す佐藤君くん

「結め込みは禁物です」と語る小澤先輩

「部活は最後までやりきって」と小筆先輩

「入試形式や奨学金制度も早く調べて」と富安先輩



卒業式後、教室の黒板の前で卒業証書を持って笑顔でピース



様々な思いを胸に体育館を後にする卒業生

旅立ちを前に最後の贈り物

笑いあり涙ありの三送会

2月27日(火)、第一体育館にて三送会が行われた。

幕を切ったのは先生方で構成されたバンド「キューティー婆ニー」。曲中の「ハニーフラッシュ」と叫ぶ部分では会場からも叫ぶ声が聞こえてきた。

その後も漫才、軽音楽部のパフォーマンスが会場を盛り上げていた。中でも体操部のステージではただ技を披露するだけでなく、顧問の仁井先生が向かってくる敵を倒していくという寸劇となっていた。各パフォーマンスの間では、司会の中西弘哉くん(2E)と小林泰士くん(2E)が一発ギャグや歯ブラシを回す芸を披露



全演目後、観客に手を振る3年生の先生達

「ブルボンちえみwith B」のパロディーなどが披露され、完成度の高さに生徒たちも盛り上がった。

三送会の最後には3年生代表として松尾紗也香さん(3H)が、涙ぐみながら学年主任の阿部先生に花束を贈った。そして阿部先生は「3年間楽しかったことも多かったこともあったけど、みんなと

三送会実行委員長の菅原彩乃さん(2E)は今回の三送会を「前日までいくつ失敗があっても、本番は大きな問題も無くてよかったです」と笑顔。「先輩にいい形で引き継ぎ、来年もいいものになれるといいなと思います」と話した。

「だって自分の専門をそのまま教えたらいいんだから、これほどいい職業はないなって思って」と当時のことを振り返る先生。新任時代に先輩の先生達が途方もない量の古文の文献を読み込んでいたことを知った時は、30年後の時点で自分も追いつければいいと気長に構えたそう。1年で100冊本を読もうと決め、この40年近くで読んだ本は5000冊を超えた。

「たまたまが一生になったけど...でも楽しかったよ、43年間」

「入試形式や奨学金制度も早く調べて」と富安先輩

「入試形式や奨学金制度も早く調べて」と富安先輩

「おめでとう」と語りながら、答辞を述べた卒業生代表の高橋夏音さん(3D)は「色々な壁にぶつかったり失敗したりしてきました。けれど、その度に先生方や家族、多くの仲間たちに支えられ、その壁を乗り越え成長させてもらったことだそう。3人とも「またバレーがしたいです」と楽しそうに話した。

佐藤楓くん(3E)が3年間で特に印象に残っているのは、最後まで一緒に活動してきたハンドボール部の仲間との最後の大会。「全力で食ら

感謝の気持ちを込めた送辞

三送会準備などをした中央委員会の代表として、生徒会長の村本夏望さん(2C)に話

「教えるは映画監督から団子屋まで様々

「お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科に合格した富

「入試形式や奨学金制度も早く調べて」と富安先輩

「だって自分の専門をそのまま教えたらいいんだから、これほどいい職業はないなって思って」と当時のことを振り返る先生。新任時代に先輩の先生達が途方もない量の古文の文献を読み込んでいたことを知った時は、30年後の時点で自分も追いつければいいと気長に構えたそう。1年で100冊本を読もうと決め、この40年近くで読んだ本は5000冊を超えた。

卒業生に聞く合格への道のり

3月13日(火)に進学懇談会が行われ、卒業した53回生の先輩から、大学受験について話を聞いた。1・2年生は受験を終えたばかりの先輩方の話を真剣に聞いていた。

「得意教科でも放置は禁物

「色んな人と切磋琢磨を

「部活は最後までやりきって」と小筆先輩

「入試形式や奨学金制度も早く調べて」と富安先輩

「結め込みは禁物です」と語る小澤先輩

「色んな人と切磋琢磨を

「部活は最後までやりきって」と小筆先輩

「入試形式や奨学金制度も早く調べて」と富安先輩

むらさき草

お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科に合格した富安先輩

むらさき草

お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科に合格した富安先輩

むらさき草

お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科に合格した富安先輩

むらさき草

お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科に合格した富安先輩

むらさき草

お茶の水女子大学文教育学部言語文化学科に合格した富安先輩